

2021年7月20日

DENSO KOBELCO SARD GR Supra 第4戦もてぎ、 決勝10位で貴重なポイントを獲得

SUPER GT 第4戦もてぎレポート



2021 SUPER GT 第4戦「MOTEGI GT 300km RACE」(7/17-18)

ツインリンクもてぎ(1周4.801km)

7月18日(日)、2ヶ月半ぶりの開催となったSUPER GT第4戦「MOTEGI GT 300km RACE」の決勝が行われ、12番グリッドからの巻き返して進取果敢に勝利を狙っていたDENSO KOBELCO SARD GR Supraは、スタート担当のハイキが抜きにくい「もてぎ」で前を攻め倦ねるも、前走車をオーバーテイクするとペースアップ。順位を上げて2ndステイアント担当の中山雄一にバトンタッチ。後半は2度のFCY導入の波乱があったが、レース終盤には後続を引き離しトップと遜色ないペースで周回を重ね、結果、予選から2つ順位を上げ10位フィニッシュ。開幕から3戦連続となる貴重なポイントを獲得した。

ドライバーポイントは1点(計14点)加算しランキング8位、チームポイントは4点(計23点)を獲得しランキング7位に。次戦は、8月21日(土)・22日(日)に鈴鹿サーキットで第3戦(延期戦)として開催される。

■事前情報

2021年シーズン前半2戦を終え現在ランキング5位につけるDENSO KOBELCO SARD GR Supra。第3戦鈴鹿は新型コロナウイルス感染拡大の影響で8月末に延期され、シーズン中に約2ヶ月半と異例のインターバルで開催される第4戦「MOTEGI GT 300km RACE」。7月17日(土) 午前に公式練習、午後にノックアウト方式(Q1、Q2)の公式予選で、18日(日) 決勝は13時10分スタート、300km(63周:約2時間)で争われる。ドライバー交代を伴うピットストップは1回が義務付けで、サクセスウェイトは、現獲得ポイントの倍となる26kgを搭載する。もてぎでの重量増によるタイムの落ち込みは、26kgだと約0.5~0.6秒と大きい。



この第4戦も引き続き様々な感染防止対策や人数制限を講じながらの開催。コースは、ストップ&ゴーとテクニカルな区間が組み合わせられ、暑い時期での開催でブレーキにもタイヤにも厳しく、抜きどころも少ない難コース。シリーズの中でも予選順位が重要視されるコースであるが、サクセスウェイト重量が重くのしかかってくる。シリーズ前半戦をよい形で固めていくためにも、このもてぎでの勝利を強く望むところ。脇阪寿一監督のもとチーム一丸となって、強く素早い決断力で大胆に突き進み、進取果敢に勝利を狙っていった。

■公式練習走行

17日（土）9時20分から開始された公式練習走行は、朝から真夏の到来といった強い日差しの晴天。気温26度/路面温度31度のコンディションの中、85分間の混走セッションが開始された。中山がまずはクルマの確認とFCY速度キャリブレーションのためソフト側ドライタイヤを装着してアウトイン。続いてそのままタイヤ評価のため再びコースイン、6周目に1分40秒466のその時点で8番手タイムをマーク。8周目からはハード側タイヤを装着。13周目に1分40秒827と13番手タイム。一旦ピットインしてアンダー傾向であったためバランスの調整を施し、中山が再度コースインして車両のベストセットを探っていく。そして、新カラーリングのNewヘルメットを被ったヘイキが21周目からハード側タイヤでロングランを実施。FCY速度キャリブレーションを挟みながら1分42秒～43秒台のペースで17周を走行。後半はリアが流れやすい状態となり、決勝へ向けても更なる車両セットの煮詰めが必要な状況となった。混走セッションは最初にマークした1分40秒466のタイムで15番手に。



10分間のGT500単独セッションでは、気温29度/路面温度40度に上昇したコンディションの中、持ち込みタイヤ本数制限から中山が予選で使えない見込みのハード側タイヤでアタックシミュレーションを実施。公式練習走行の走行データからセット変更を行い、更にピークグリップの合わせ込みを狙った走りでも1分39秒407の12番手のタイムをマーク。公式練習走行ではトータル43周を走行。その後のFCYテスト走行ではヘイキがクルマのセット変更後のフィーリングを確認するために11周ほどドライブ。両ドライバーのコメントから、午後の予選へ向けて更なるクルマの大きな改善が必要に迫られる公式練習走行となった。

■公式予選

■Q1：中山が超僅差のQ1で12位に

17日（土）Q1開始時点で、気温32度/路面温度43度ながら体感是非常に暑く、強い日差しが照りつけ路面温度は50度を超えている箇所もあるほどの灼熱のコンディション。残り7分ほどでコースインしたファーストアタッカーの中山。インターバルの間にエンジニア陣に対し、しっかりとクルマの状況と意見を出し、クルマの改善に努め合い十分に乗り込んだ中山。予選での上位を狙ってソフト側タイヤを装着してコースイン。タイヤのウォームアップも良く狙った3周目にアタックを開始してセクター1で自己ベストとなる24秒台に入れてくる。セクター3も26秒台を切ろうかという勢いで駆け抜けていく。セクター3で自己ベスト更新ならずも、セクター4で巻き返し、1分38秒886と午前中のGT500単独セッションでの6位以内となるQ2進出圏内のタイムを叩き出す。だがセッション終了まで僅かに残った最後の時間帯でライバル勢がタイムを上回ってくる。超僅差のアタック合戦となったQ1で突破ならずの12位となった。決勝へ向けて別の要求がされるセットに関して、一層のクルマの改善が必要となり、予選後はチーム内の意見交換に時間を割いて、エンジニアもそれに応えるべくデータの解析に時間をかけて懸命に取り組んだ。



■決勝

■ウォームアップ走行

18日（日）11時35分から開始されたスタート前20分間のウォームアップ走行は、気温33度/路面温度50度と路面は灼熱状態でのコンディションに。まずは中山が決勝スタートタイヤと同スเปックのソフト側タイヤを装着してアウトインのベディング。続いてスタート担当のヘイキが、だいたい走り込んだユーズドソフト側タイヤを装着してロングランを実施して決勝セットの確認を実施。ウォームアップは、1分42秒～43秒台のペースで11周を走行。1分42秒779の12番手タイムとなった。



■決勝レース

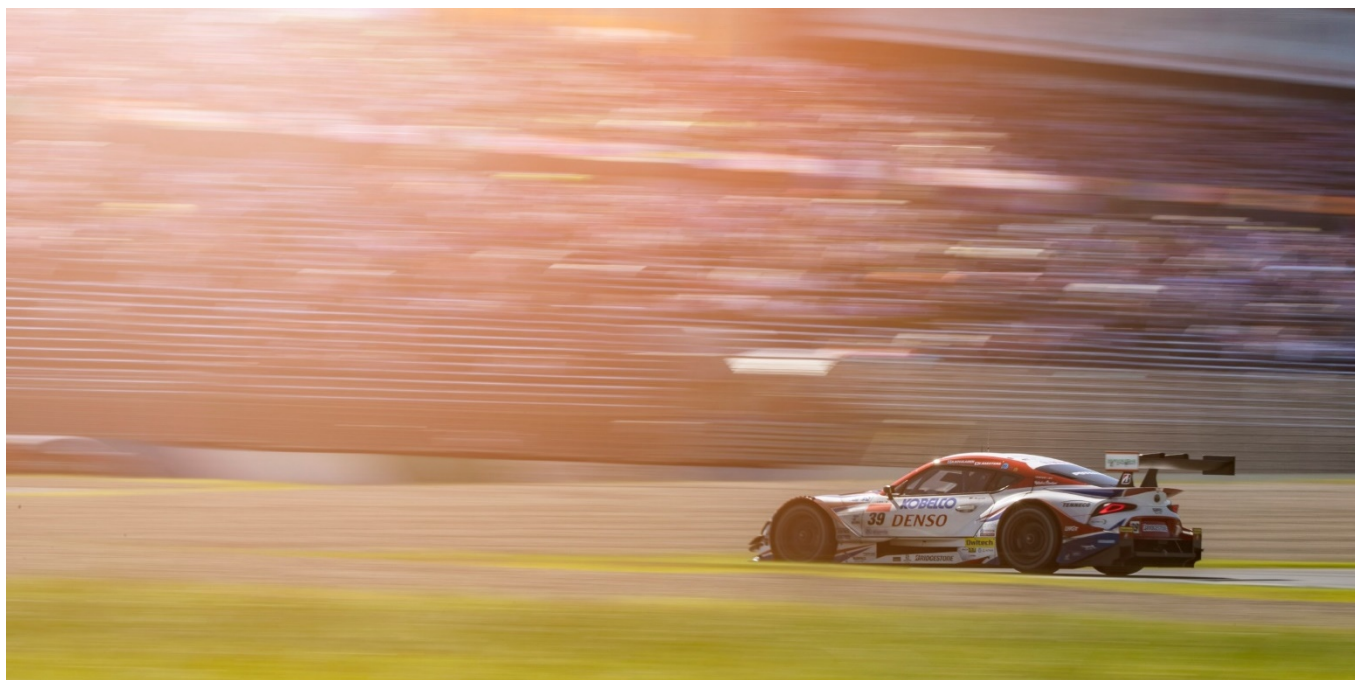
第1スティント：ヘイキがスティント終盤ポジションアップ後、好ペースに

18日（日）真夏の快晴となった13時10分決勝スタート時点は、気温33度/路面温度51度と上昇し、夏の強い日差しが照りつける中で、スタート担当のヘイキが12番グリッドからの巻き返しを誓い進取果敢に勝利を狙っていった。レース序盤、次第にペースの上がらなくなっていった前走車を、幾度か抜きにくい「もてぎ」で抜きにかかるが、攻め倦める膠着状況に。好ペースを維持するヘイキは、20周目によりやく前走車をオーバーテイクすると一段とペースアップ。その後、ショートスティント戦略を取るライバル勢がピットインを始める。脇阪監督はヘイキのペースが速くなったことから、少し他の動向を見ながらピットインをひっぱり戦略を取る判断。ヘイキに残り周回をプッシュする様に無線で檄が飛ぶ。そして、ここぞとばかりにトップペースで周回していたヘイキを29周目にピットに呼び戻した。

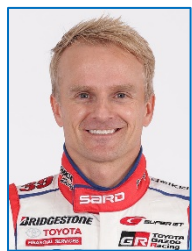


第2スティント：中山が終盤トップペースでポイントをもぎ取る。

定評のあるピットワークの素早さで中山を送り出すと実質11位のポジション。気温33度/路面温度45度と若干路面温度が下がっていたが、タイヤはハード側をチョイス。コースに戻った直後はタイヤがしっかりと温まらずペースが上がらなかったが、5周ほどすると43秒台に乗せて中山が好ペースで前を追いかける。トップとの差をも削っていく勢いであったが、41周目にFCYが導入。2周回でFCY解除されるも、再び45周目にFCY2周回導入と2度のFCY導入の波乱。FCYの影響で後続に近寄られるもFCY解除後には引き離す走りを見せた中山は、レース終盤にはトップと遜色ないペースで周回を重ねた。結果、DENSO KOBELCO SARD GR Supraは、予選から2つ順位を上げ10位でフィニッシュ。開幕から3戦連続となる貴重なポイントを獲得した。



ドライバーポイントは1点（計14点）加算しランキング8位、チームポイントは4点（計23点）を獲得しランキング7位に。次戦は、8月21日（土）・22日（日）に鈴鹿サーキットで第3戦（延期戦）として開催される。



■ヘイキ・コバライネン

「この週末は、走り始めからとても悩んだ週末になったね。コミュニケーションを取りながら次第に良い方向に進んでいけたと思う。それは決勝では24号車を抜いてからは良いペースで走れていたし、ユウイチサンも終盤に良いペースで走っていたことからわかると思う。SUPER GTは高いレベルで拮抗していて、とても難しく競争が激しいレースだけど、久しぶりのレースで走っている最中は、とてもワクワク興奮したよ。1ポイントだけでも3戦連続ポイントを獲得できたことは今後に生きてくると思うし、やるべき事はたくさんあるけど、次の第3戦鈴鹿へ向けて良い材料は揃ってきたから楽しみにしていて欲しい」



■中山 雄一

「走り出しからマシンのセットアップやタイヤ選択など色々な判断をする場面で悩むことが多い週末になりました。走行を重ねるたびにうまく修正していくことはでき、決勝のスティント終盤は周りのマシンに比べてペースが良く、どんどん差を縮めることができました。トップ集団のベストタイムには及びませんでしたが、レース終盤の好ペースにはスーパのセットアップのヒントが隠されていると思いますし、次戦やシーズン後半に向けて良い方向性を掴むことができていると思います。次の鈴鹿こそ力強いレースをお見せしたいと思います。引き続き応援よろしくお願い申し上げます」



■監督 脇阪 寿一

「2ヶ月半ぶりのSUPER GTで、最初は自分の中でチームの中に"乱れ"を感じた走り出しで、この週末の組み立て方に悩んだ状況となりましたが、長い時間にわたってドライバーやエンジニア、メカと話し合い意見をぶつけ合ったことで、今は、一つになれてると感じています。立ち上がり遅れをとった結果が、僅差のこのGTの戦いの中で予選で置いてかれた感じになりましたが、ヘイキと雄一の決勝各スティント終盤の好ペースの中に光明を見出すことができました。次の鈴鹿はチームの本拠地も近く、応援いただいている方々も大挙して来場されますので、良い結果で笑顔にさせたいと思います。引き続き熱いご声援をよろしくお願いいたします！」

■Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time	WH
1	1	STANLEY NSX-GT	山本 尚貴／牧野 任祐	1'37.498	22
2	19	WedsSport ADVAN GR Supra	国本 雄資／宮田 莉朋	1'37.549	10
3	16	Red Bull MOTUL MUGEN NSX-GT	笹原 右京／大湯 都史樹	1'37.768	0
12	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	*1'38.886	26

天候：晴れ、コース：ドライ、Timeの*印はQ1ベスト

■Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	1	STANLEY NSX-GT	山本 尚貴／牧野 任祐	1:54'03.865	63
2	19	WedsSport ADVAN GR Supra	国本 雄資／宮田 莉朋	+3.221	63
3	36	au TOM'S GR Supra	関口 雄飛／坪井 翔	+11.880	63
10	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	+58.320	63

天候：晴れ、コース：ドライ、4.801km×63Laps

■ Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	14	大嶋／山下	35
2	1	山本	32
3	1	牧野	29
8	39	コバライネン／中山	14

Point standings after Rd.4

■ Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	14	TGR TEAM ENEOS ROOKIE	43
2	1	TEAM KUNIMITSU	40
3	37	TGR TEAM KeePer TOM'S	35
7	39	TGR TEAM SARD	23

Point standings after Rd.4

■ Partners

TOYOTA

Owltech

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

NEW
Co., Ltd.

hp

MECHANIX WEAR

Kobelco Steelers
KOBELCO STEEL RUGBY CLUB

TOYOTA
GAZOO
Racing

TENNECO

豊田通商

小松開発工業

salomon

**MAKE
WINNER**



DENSO

豊田自動織機

FUJIMAKI
GROUP

Jms

SUUNTO

GruppeM
Racing Inc.

KOBELCO

JTEKT

INOS

中京化成工業

ATOMIC

UNIMAT LIFE

Racing Development
TRD

豊田合成

HAYASHI
TELEMPLO

Mizuno

KARL STORZ NDTec

admic

BRIDGESTONE

進和

ADVICS

BBS

ALTAIR

MOTUL

■ 情報参照先

- サード公式ウェブサイト : <http://www.sard.co.jp>
- SARD Facebook : <https://www.facebook.com/SARD.Corporation>
- SARD Twitter : https://twitter.com/SARD_Racing
- SARD Instagram : https://www.instagram.com/team_sard/
- SARD YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCb5NIgwwcB7MtooRFaF5FVA>
- SUPER GT : <http://supergt.net/jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp

SARD

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

www.sard.co.jp